

1. 日米株式と円/ドルの推移



(注)チャートは過去1年

	単位	2019/12/31	2020/10/30	2020/11/6	過去3年高値		過去3年安値	
		(前年末)	(前月末)	(前週末)	水準	日付	水準	日付
日経平均	円	23,656.62	22,977.13	24,325.23	24,448.07	2018/10/2	16,358.19	2020/3/19
NYダウ	ドル	28,538.44	26,501.60	28,323.40	29,568.57	2020/2/12	18,213.65	2020/3/23
円/ドル	円	108.61	104.66	103.35	114.73	2017/11/6	101.19	2020/3/9

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場 先週の振り返り

～米大統領選挙結果の早期判明への期待や、バイデン候補の政策が実施される可能性が低下したことに対する安心感から、大幅に上昇～

先週の日本株市場は、週間ベースで日経平均が+1,348.10円(+5.87%)、TOPIXが+79.16ポイント(+5.01%)となり、米大統領選挙結果の早期判明への期待や、バイデン候補の政策が実施される可能性が低下したことに対する安心感から、大幅に上昇しました。業種別(東証33業種)で見ると、医薬品、機械、サービス業、鉄鋼をはじめとする全ての業種が上昇しました。週初2日の日本株市場は、前週に大きく下落した反動や中国財新製造業PMI(購買担当者景気指数)が堅調であったことなどから上昇して始まり、祝日明けの4日は、米大統領・上下院選挙の開票作業が進むに連れ、選挙結果が早期に判明するとの思惑が強まり、結果判明に時間を要し米国の政治的混迷が強まるとの懸念が低下して続伸しました。その後は、上院選挙において共和党が優勢となり、仮にバイデン候補が勝利したとしても、法人税増税や大手ハイテク企業への規制強化などの同候補が掲げる政策の実現可能性が低下したことなどから連日上昇を続け、週末6日の日経平均株価はおよそ29年ぶりの高値で引けました。

3. 今週の主な予定

日程	曜日	国・地域	項目	期間	前回
11月9日	Mon	日本	景気一致指数	9月	79.2
			景気先行CI指数	9月	88.4
			景気ウォッチャー調査現状	10月	49.3
11月10日	Tue	日本	景気ウォッチャー調査先行	10月	48.3
		中国	CPI(消費者物価指数)(前年比)	10月	+1.7%
		ドイツ	ZEW期待指数	11月	56.1
11月11日	Wed	欧州	ECB(欧州中央銀行)フォーラム(12日まで)		
		中国	独身の日、大規模オンラインセール		
11月12日	Thu	日本	機械受注(船舶・電力を除く民需)(前月比)	9月	+0.2%
			第3次産業活動指数(前月比)	9月	+0.8%
		欧州	ユーロ圏鉱工業生産(前月比)	9月	+0.7%
		米国	CPI(除食品・エネルギー/前年比)	10月	+1.7%
11月13日	Fri	米国	PPI(生産者物価指数)(除食品・エネルギー/前年比)	10月	+1.2%
			ミシガン大学消費者信頼感指数	11月	81.8

決算発表予定 他

国内	決算発表	11/9 セコム、ソフトバンクグループ、ホシザキ、ヤマハ発動機、住友金属鉱山、大林組、島津製作所、東京センチュリー、浜松ホトクス、清水建設、関西エント、飯田グループHD 11/10 りそなHD、ネクス、パン・パシフィック・インターナショナルHD、出光興産、名古屋鉄道、大日本印刷、富士フィルムHD、明治HD、東急、資生堂、鹿島、TIS 11/11 三井化学、三菱地所、大和ハウス工業、大成建設、東芝、電通グループ、ENEOSホールディングス、GMOヘイストリートウェイ、コンコディア・フィナンシャルグループ 11/12 みずほフィナンシャルグループ、新生銀行、トヨタ自動車、三井住友トラストHD、住友不動産、光通信、博報堂DYホールディングス、日本マクドナルドHD、日産化学、日産自動車、楽天、近鉄グループHD 11/13 かんぽ生命保険、ゆうちょ銀行、オリパス、ヤクルト本社、三井住友フィナンシャルグループ、三菱UFJフィナンシャルグループ、大塚HD、日本ヘイストHD、日本郵政、日本インテック、第一生命HD、SMC、T&Dホールディングス
海外	決算発表	11/9 マクドナルド 11/10 アディダス、リト 11/12 アブライト・マテリアルズ、ザ・ウォルト・ディズニー・カンパニー、シスコシステムズ、シーメンス、メルク、テンセントHD、ホンハイ・プレジジョン・インダストリー 11/13 JDI・トコ

※ 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場 今週の見通し

～米国の政治的不透明感が後退する中、堅調な企業業績などを背景に高値圏での推移が続く～

今週の日本株市場は、米国の政治的不透明感が後退する中、堅調な企業業績などを背景に高値圏での推移が続くと予想しています。米大統領/上下院選挙では、バイデン候補が勝利する一方、上院は共和党が制する可能性が高く、バイデン候補勝利の場合に懸念されていた法人税増税や大手ハイテク企業への規制強化は回避されるとみられています。これらから、米国の政治的不透明感は大きく後退し、選挙前に難航していた追加経済政策を巡る協議が進展することも期待できる状況です。先週の急上昇を受け高値警戒感があることや、欧米における新型コロナウイルスの感染再拡大は株価下落材料として懸念されますが、①全面的な都市封鎖による景気の急減速は回避されるとみていること、②各国中央銀行が大規模な金融緩和策を継続もしくは強化していること、③国内企業の7-9月期決算において事前予想を上回る業績が相次いでいることなどがプラスとなり、当面高値圏での推移が続くと考えます。その他の注目材料として、日本では10日の景気ウォッチャー調査、12日の機械受注、米国では12日のCPI、欧州では11日のECBフォーラム、ドイツでは10日のZEW期待指数、中国では11日の独身の日セールなどが挙げられます。



朝日ライフ アセットマネジメント株式会社  
Asahi Life Asset Management Co., Ltd.  
URL: <http://www.alamco.co.jp>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第301号  
加入協会: 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会